

2023年度 事業報告書

2023年 4月 1日から

2024年 3月31日まで

学校法人 共立学園

2023年度 学校法人共立学園 事業報告

2023年度も、当学園の求める「子どもらしさ」「子どもの発想」を大切にしながらスタッフ一丸となって幼児教育・保育に取り組んで参りました。全国の出生数は減少が続き少子化の進行が止まりませんが、この状況に対応した園づくりを意識し取り組むことが求められます。そのためにこれからも必要とされる園について検証を重ね、当学園の教育内容の充実と当該内容の全スタッフ共有、そして保護者はじめ地域や利害関係者への取り組みの発信にも努めて参りました。そして行政機関への種々課題軽減に向けた働きかけと並行して、スタッフのモチベーションアップおよび「働き方改革」に係る労働環境向上等に向けて、様々な取り組みによりワークライフバランスを充実させていくことが重要と考えています。

3～5歳児の認定区分ではあきらかに1号認定に比して2号認定割合が増加し続けており、2015年度では約20%だったのが、2023年度末では約48%（新2号認定含む）となり、双方割合がほぼ同じとなりました。これからは社会全体の雇用形態や就労状況に関する構造変化が加速化することで保育利用児への対応とともに、教育内容の質向上に取り組むことが求められます。そして、子どもの貧困対策も重要な取り組みとして位置づけられ、園としても地域と共生し、福祉的な取り組みとともに社会に適応していくことが更に求められることは言うまでもありません。そして、認定こども園として幼児教育・保育と「子育て支援の包括的アプローチ」に関して、保育教諭人材育成とリーダーマネジメント力を磨いて、「子ども」、「家庭」、「地域」それぞれのテーマについてスタッフ全員で理解し、取り組んで行きたいと思えます。

当学園運営として「生産性」向上のカギは「人」と「質」ではありますが、そのために、①「ICT推進（保育に関連する周辺業務の省力化、効率化、合理化）」②「研修機会充実（保育者の資質向上）」③「経営の質向上、労働環境改善（経営マネジメント力）」に関しては特に注視しながら、引き続き園運営に取り組んで参ります。人件費比率に関しては例年以上に増加傾向にありますが、人材配置は中長期的視点では今後の事業展開に向けてはコストではなく必要な「投資」ととらえ取り組んで参りました。加えて食材等の価格高騰が続いていますが、利用者の「食」への意識が高まる状況を踏まえれば、これも将来に向けての「投資」であります。コスト意識については常々注視しながら、必要とされる園づくりとして、そして子どもの健やかな育ちの保証として、利用者の立場にも立ち、SDGs（持続可能な社会への実現）にかかる取り組みを継続しながらこれからも取り組んで参りたいと考えています。

2023年度の取り組み活動状況については以下の通りです。

学園概要

1. 法人の概要

名 称 学校法人 共立学園 (昭和44年2月21日法人設立)

代表者 理事長 内藤 芳雄

住 所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号

電 話 0725-55-2199

FAX 0725-57-2025

設置する学校

住 所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号

名 称 幼保連携型認定こども園 新光明池幼稚園

役 員

理 事 6名 監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催 評議員会 2回開催

役員名簿

監事	佐久間 春夫
監事	宮島 基行
理事	松山 由美子
理事 (評議員兼任)	武井 邦彦
理事 (評議員兼任)	清水 李生
理事 (評議員兼任)	葛城 宗人
理事 (評議員兼任)	内藤 真希
理事 (評議員兼任)	内藤 芳雄
評議員	瀬田 真由子
評議員	北村 至淳
評議員	小林 明彦
評議員	濱地 直樹
評議員	内田 裕之
評議員	東野 考志
評議員	田盛 智子
評議員	齋藤 智子

職 員 83名

2. 学園理念 『学園円満』

3. 保育理念 「子どもらしさ」「子どもの発想」を大切にする園

- ◆ 自己肯定感を育むこと
- ◆ 友だちとつながる楽しさを十分に経験すること

「当園保育内容」

- ① 遊び中心の保育
- ② 講師によるプログラム
- ③ 人との関りを大切にする
- ④ 五感を通して直接体験を重視

4. 事業計画

《園児数推移》

各年3月1日

		3歳児		4歳児		5歳児		①3～5歳計	
		クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数計	園児数計
定員	1号	5	60	3	60	3	60	11	180
	2号		20		21		21		62
R3年度	1号	5	92	3	79	3	83	11	254
R4年度	2号	5	90	3	75	3	78	11	243
R5年度	計	5	93	3	76	3	76	11	245

		0歳児	1歳児	2歳児	② 0～2歳園児数計	①+② 0～5歳 園児数計
		園児数	園児数	園児数		
定員	3号	12	18	18	48	290
R3年度		12	18	24	54	313
R4年度		12	18	24	54	308
R5年度		12	18	23	53	298

《保育時間》

開園時間：7：30～18：30

①教育標準時間：10：00～14：30

②保育標準時間：7：30～18：30

②保育短時間：8：30～16：30

《公定価格》

利用者負担金（基本保育料） 1号認定、2号認定（無償化）
3号認定（各在住市で定められた額）

《上乗せ徴収》

特別活動費	1号、2号	月額	2,000円
施設環境維持費	1号、2号、3号		2,000円
教育拡充費	1号、2号	月額	3,000円（満3歳児のみ）

《実費徴収》

バス維持費	1号、2号	月額	3,600円
給食費	1号	月額	5,200円（主食費1,800円 副食費3,400円）※
	2号	月額	7,000円（主食費2,300円 副食費4,700円）※
保育教材費	3号	月額	1,000円
布団リース代	2号、3号	月額	1,200円

※ 2024年度からの値上げ後金額

《その他の費用》

入園受入準備費	30,000円（1号認定）
---------	---------------

《延長保育料金》

1号認定こども（2号、3号は別に定める）

午前の部	午前7時30分～午前8時30分	400円（→「就労要件」利用可）
午後の部	午後2時30分～午後4時30分	600円
	午後2時30分～午後5時30分	800円
	午後2時30分～午後6時30分	900円（→「就労要件」利用可）

《半日保育時の延長保育料金》

1号認定こども（2号、3号は別に定める）

午前の部	午前7時30分～午前8時30分	400円（→「就労要件」利用可）
午後の部	午後2時30分～午後4時30分	500円
	午後2時30分～午後5時30分	800円
	午後2時30分～午後6時30分	1,000円（→「就労要件」利用可）

《長期休暇の預かり保育料金》

午前7時30分～午後6時30分	1時間200円（給食440円）
-----------------	-----------------

《行事》

遠足（年長、年4回、年中・年少・満3歳児、年3回）、参観日（年7回）、学年集会、クラス別懇談会（年3回）、七夕祭り、宿泊保育（年長、年中）、移動動物園、運動会、作品展、おもちゃつき、クリスマス会、クリスマスコンサート（鑑賞会）、生活発表会、水上運動会（年長）

《施設関係》

園地面積 4, 163.56㎡ 園庭面積 1, 346.38㎡

園舎面積 2, 161.28㎡（RC造 2階建他2棟）

保育室11室、乳児室・ほふく室2室、遊戯室1室、調理室1室、子育て支援室1室

《設備関係》

各種ICTシステム導入により保育現場および事務処理の効率化を進めている。

《遊具関係》

子どもが育つ遊びの環境および園内自然環境の維持・充実に踏まえ、植物が良好に育つための土壌改良、植栽追加等の工事により、「自然の遊具」として活用できるように園庭改造を行い、園児の身体能力の向上や感性を高める工夫を行った。これからの少子化時代でも必要とされる園づくり、幼児教育環境の向上を計った。

【その他子育て支援活動・地域連携等】

- 園庭開放…年間12回開催
- キッズサークル（未就園児親子のつどい）…年間20回開催
- 子育て相談…随時開催
- キンダーカウンセラー事業…年間20回開催
- SDGsの学園取り組み（SDP、ポスター発表、JPIC「この本読んで！」掲載など）
- 地域連携活動等
 - ・幼稚園であそぼうDAY（園児と地域のこどもの交流会）
 - ・親子体操 ・動物とふれあいDAY ・ワクワク幼稚園（年長組お泊り保育）
 - ・クリスマス会・人形劇 ・親子ふれあいコンサート・給食試食会
 - ・小学生わくわくチャレンジ（学童イベント）
 - ・その他